国語解答用紙

受験番号					
1	2	3	4	5	6

コード		四		三		二		一		得点
1	0									
7	8	11	12	14	15	17	18	20	21	

一

採点欄

問一

1 穏当　2 弊　3 発揮　4 契機

問二 仮名で文字を書くよりも漢字で書くほうが、言語意識として表意的であるということについて、仮名表記のほうが、より表意的であるという場合もあるということ。

問三 B 文字言語　C 音声言語

問四 ソシュールは音声言語を「主」、文字言語を「従」と述べているが、時枝は音声言語と文字言語はそれぞれ機能的に独立し、異なった役割を持っていると述べている。

問五 書きことばの、時空をこえて他の人々に伝えられるという物理的性質を、書きことばの特質として、言語意識に自覚されるほどに、主体の言語意識が成熟、発展すること

二

採点欄

（省略）

三

採点欄

問一 和歌や芸能などを専門として代々受け継がれている家系

問二 他人の目からは、きっとたいそう立派に思われるだろう。

問三 ウ 才能はあっても、そのはなやかさは一時的なものであって、次第に衰えていく者。

エ はなやかさはないが、先祖伝来の伝統を受け継いでいこうとする者。

問四 父祖の建てた業績を越えた才能を発揮するということ。

四

採点欄

問一 a かつて　b もし　c すなはち

問二 犬の蘊には白狗子のことを知らせないでいた。

問三 父庾冰から家系に白龍が生まれると自家に凶事が生じると聞かされており、妻の部屋で生まれた白い犬が普通では考えられないほど大きく、人々の前で忽然と消えてしまったから。

問四 かんおんのほろぼすところとなる（かんおんのためにほろぼさる）